

# 2025年万博基本構想検討会 理念・事業展開部会への貢献

- 2025年の世界と日本の状況に関する基礎資料 -

2016年7月12日

中谷 比呂樹

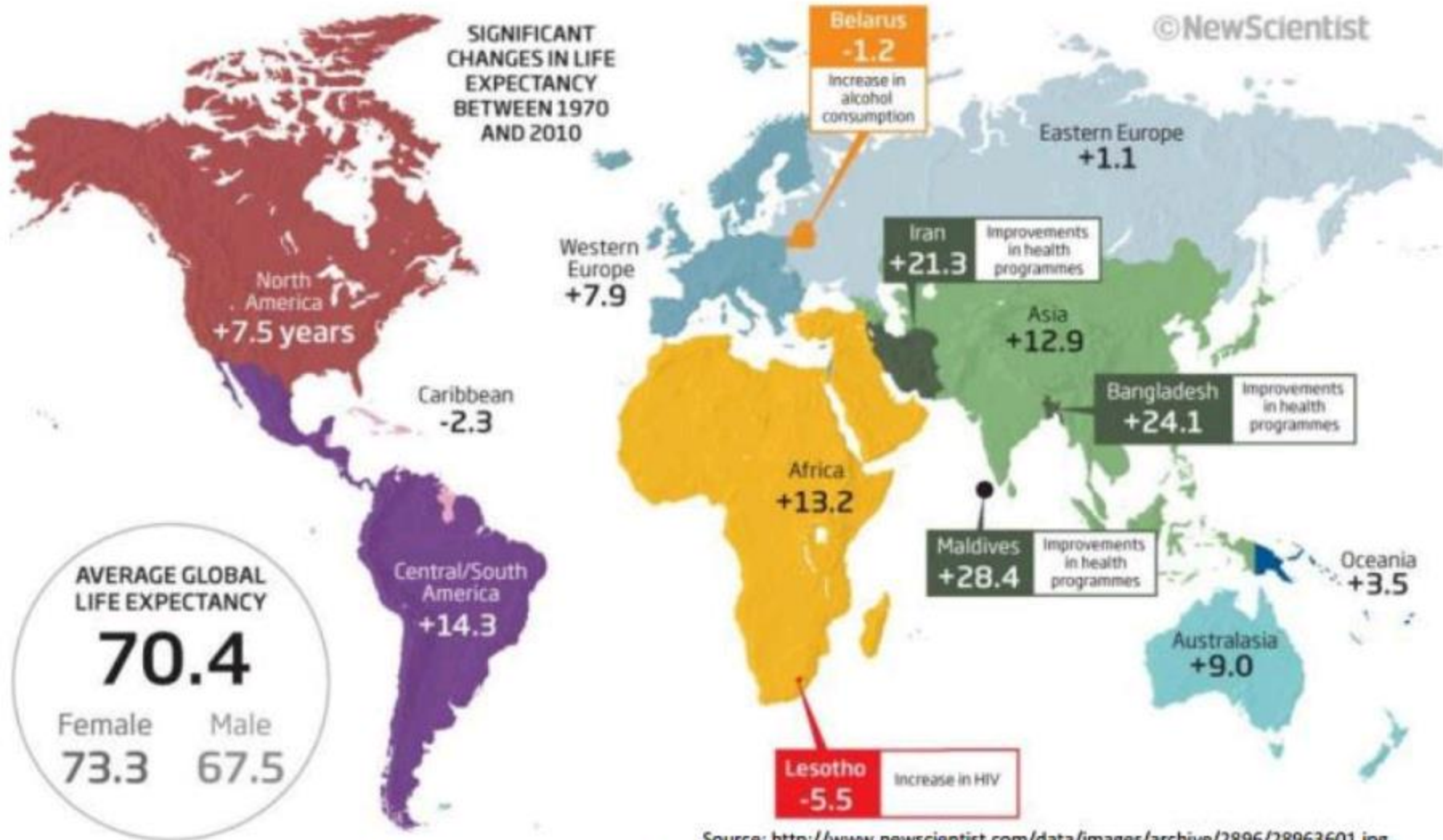
世界は豊かに、長寿になっている。そのモデルを確立したのが日本。その成功から新たなチャレンジに直面する日本。

まずHans Rosling 博士のBBCビデオClipをご覧ください

<https://www.youtube.com/watch?v=jbkSRLYSojo>

# 過去40年間の平均寿命の延長

アジア・アフリカ・中南米では12年以上

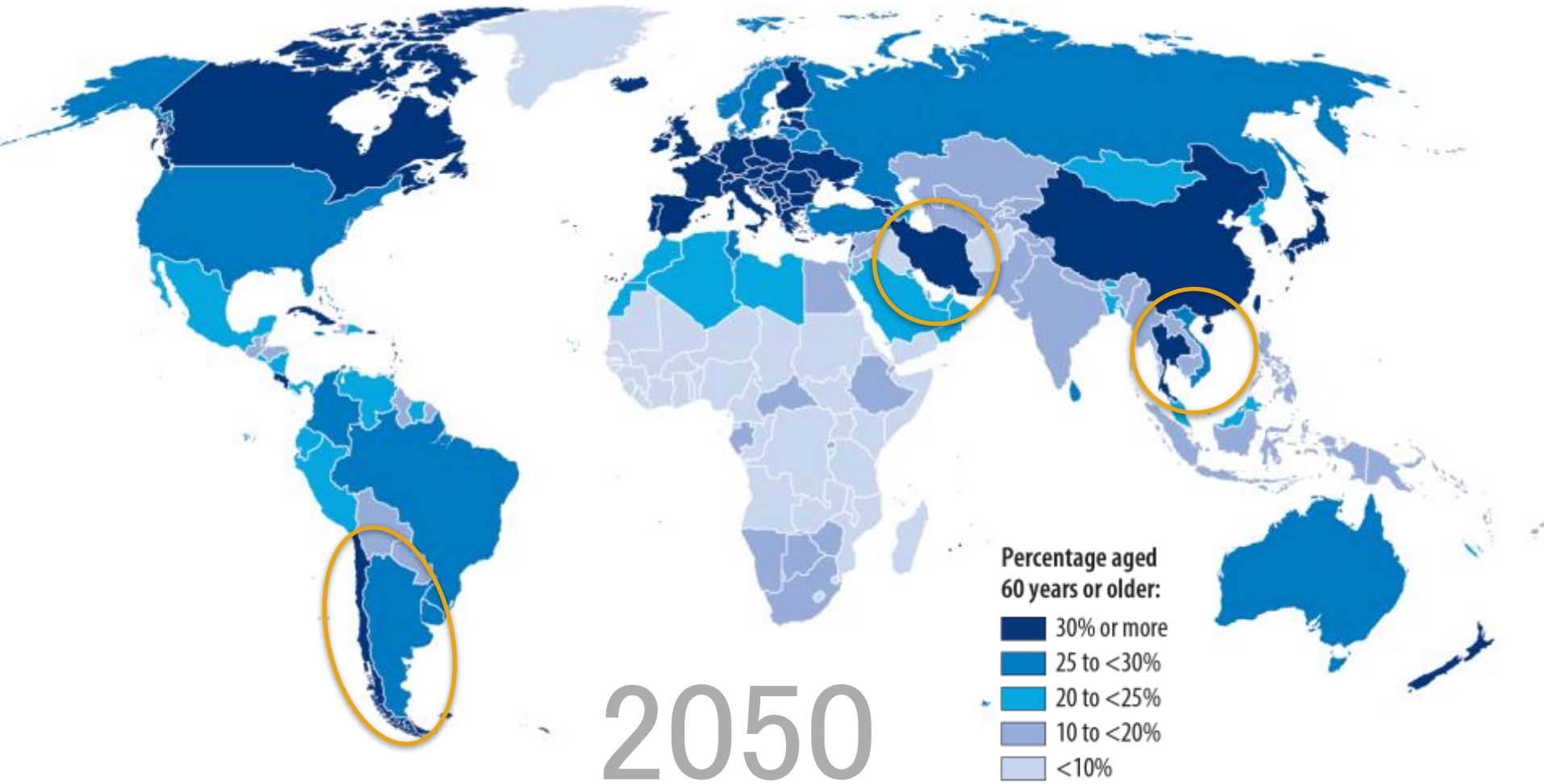


Source: <http://www.newscientist.com/data/images/archive/2896/28963601.jpg>

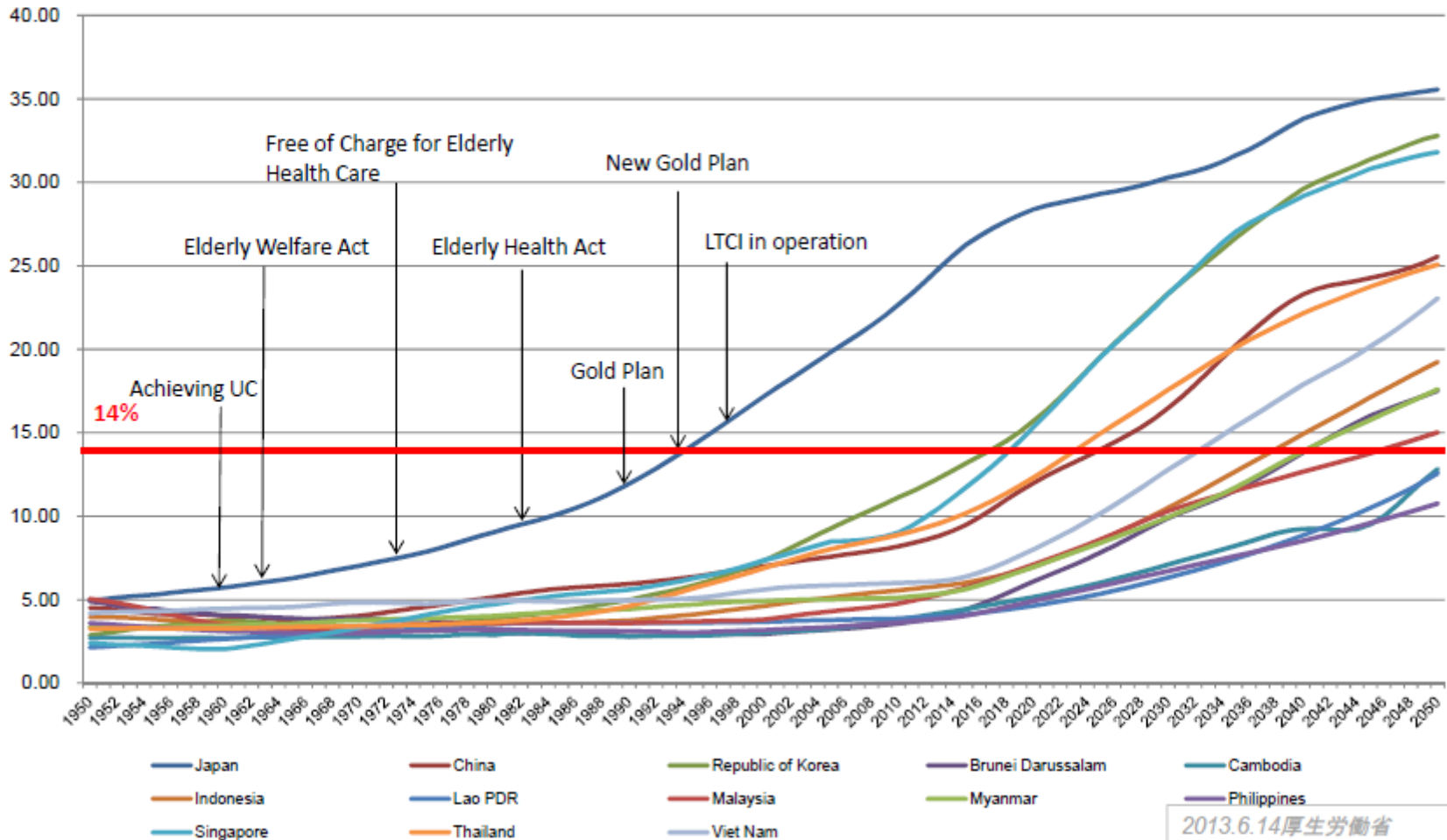
<http://graduateinstitute.ch/files/live/sites/iheid/files/sites/globalhealth/ghp-new/Documents/Events/Policy%20Dialogues/Heath%20R&D%20Presentation%20Rottingen%20Panel.pdf>

# 高齢化する世界

資料:WHO



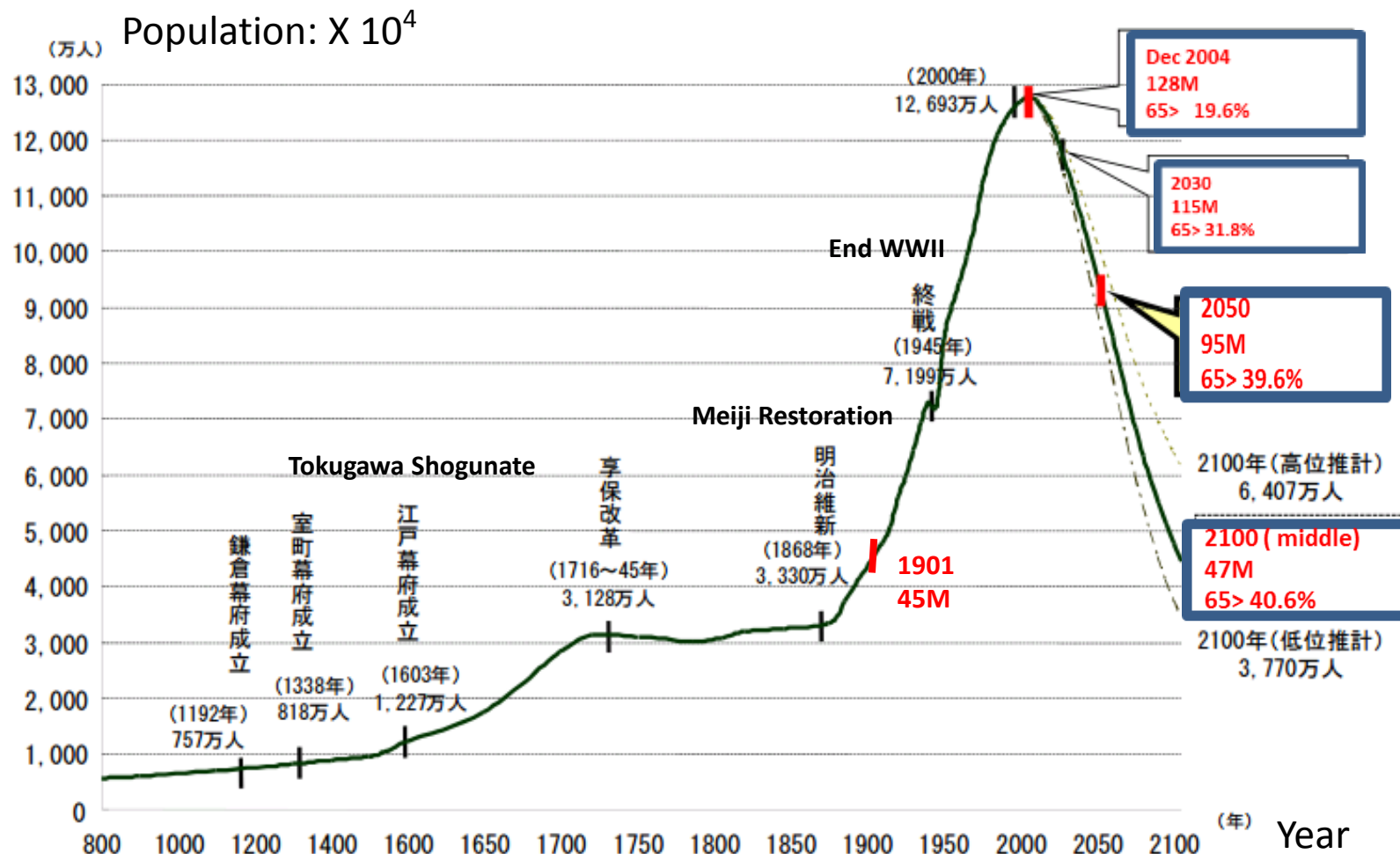
# 日本よりも早いスピードで高齢化するアジア



Source: UN, World Population Prospects, Database

2013.6.14厚生労働省  
第1回「国際的なActive Agingに  
おける日本の貢献に関する検討会」

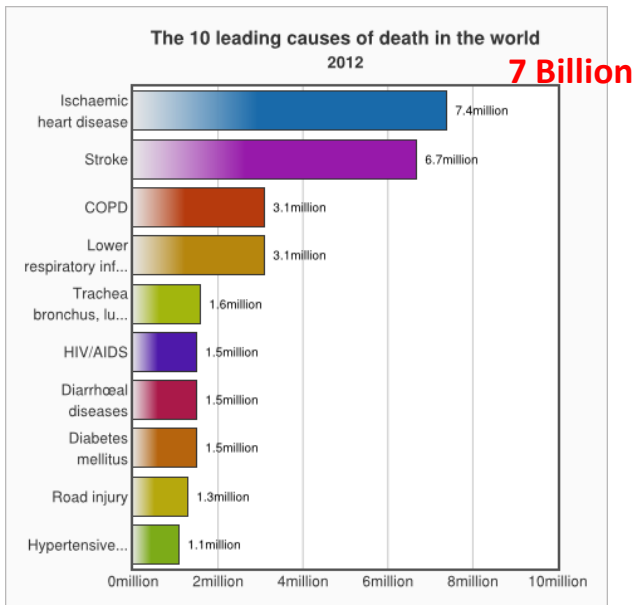
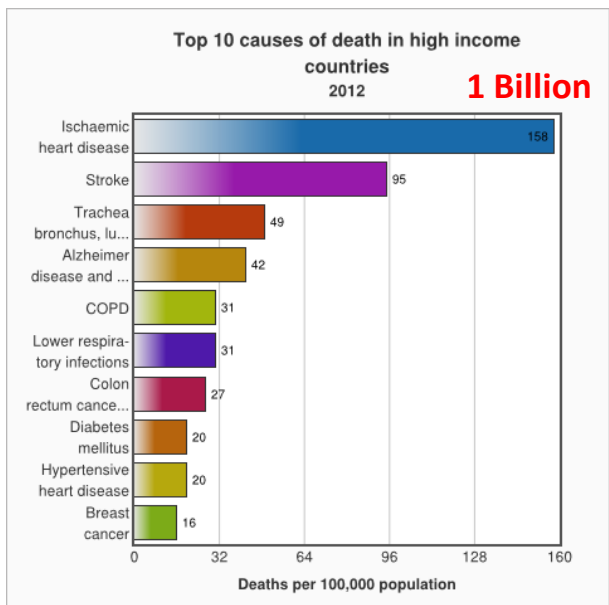
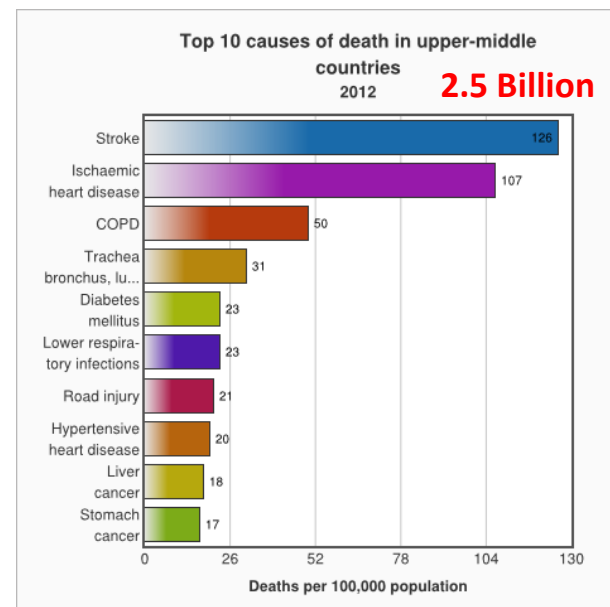
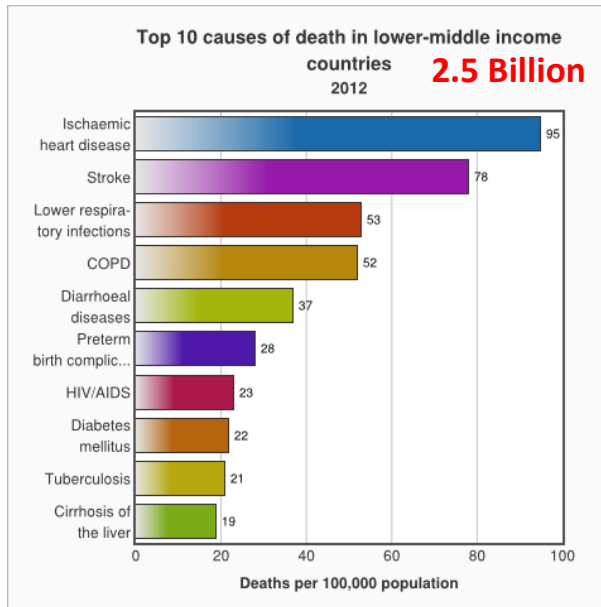
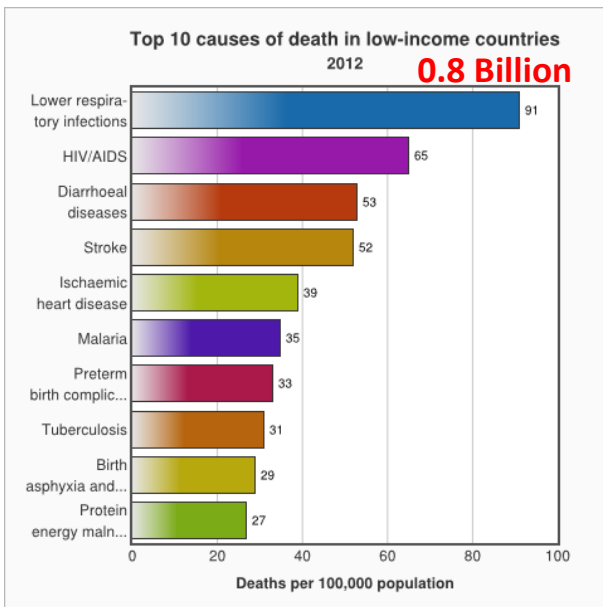
# 本格的な人口減少局面に達する日本



(出典)総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、同「平成12年及び17年国勢調査結果による補間推計人口」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)をもとに、国土交通省国土計画局作成



# 既に世界の疾病構造は感染症から非感染症へ



## Source

WHO Media Centre

The top 10 causes of death, Fact sheet N°310, Updated May 2014

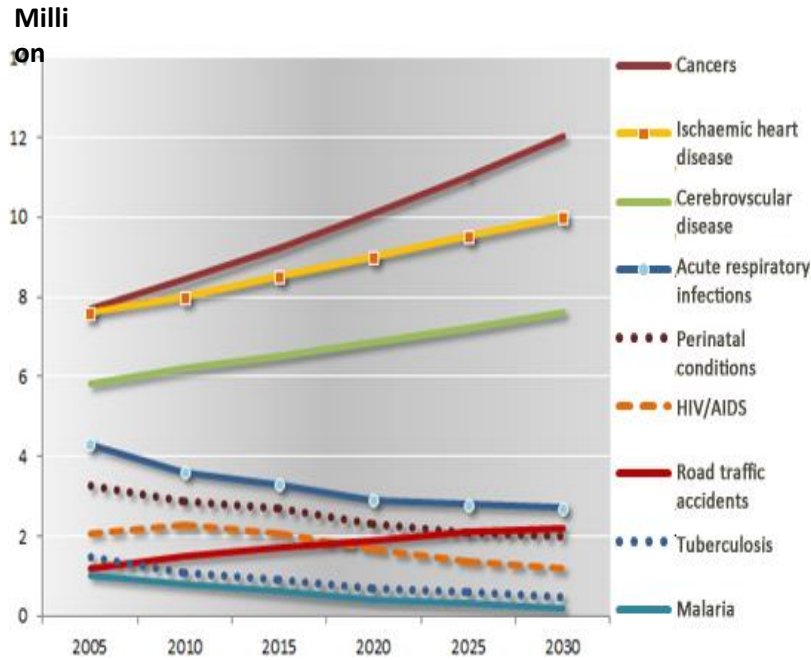
<http://www.who.int/mediacentre/factsheets/fs310/en/>

## Source

World Bank. World Development Indicators. Washington DC, World Bank 2013

# 死亡数と疾病負荷(障がいを持ちながら生活される方の不都合を考慮した指標)の将来推計

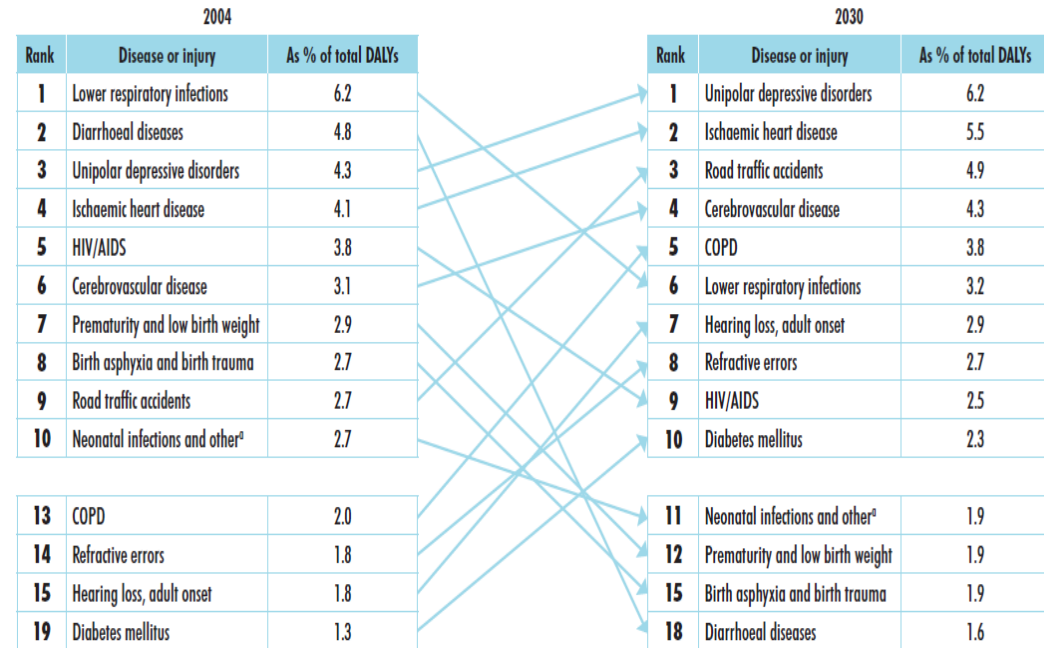
## 死亡数推移, 2004-30



[http://www.who.int/healthinfo/global\\_burden\\_disease/GBD\\_report\\_2004update\\_full.pdf?ua=1](http://www.who.int/healthinfo/global_burden_disease/GBD_report_2004update_full.pdf?ua=1)

## 疾病負荷(DALY)推移, 2004-2030

Figure 1. Ten leading causes of burden of disease, world, 2004 and 2030



<sup>a</sup> This category also includes other non-infectious causes arising in the perinatal period apart from prematurity, low birth weight, birth trauma and asphyxia. These non-infectious causes are responsible for about 20% of DALYs shown in this category.

The global burden of disease: 2004 update. Geneva, World Health Organization, 2008.



## 論議のポイント（例）

- これらを踏まえて、どのような挑戦をするか？ 機会としてどう活用するか??
- それがどのように人々の生活の質を高めることになるのか？
- 高齢化によって減弱する能力を補てんする新技術 ➡ 大阪・近畿圏の医療産業・研究集積の活用
- 人口構成が変わることによる社会的影響をマイルドにそして好ましいものにする社会ソフトの開発 ➡ 大きな機会
- 2025年大阪までのロードマップ＝イベントありきではなく大阪の健康革命の「行くつく先」としての万博というシナリオが描けるか？ 2020年までの中間目標といったものは必要ないか？